

第3回 花火大会検証会議

会議録

【日時】 令和6年8月29日（木）13:30～15:00

【場所】 福知山市厚生会館 中会場（2階）

【出席者】（委員） 6名（別紙参照）

（事務局）産業観光課 大江課長、田中係長

1 開会

2 開会挨拶

会 長：本日はオンラインと対面のハイブリットでの開催となるので、ご了解のほどよろしくお願ひ致します。8月11日に開催された「福知山HANABI2024」において、委員の皆様には、花火大会が安心安全に実施されているかをチェックシートに基づいて、会場周辺を点検していただいた。花火大会終了後の委員の皆様からの感想は、いくつかの課題や改善点などが出たものの、無事に終了したとの見解が示された。本日の会議では「福知山HANABI2024」の開催結果並びにチェックシートのまとめを事務局より説明していただく。それらをもとに検証会議としての花火大会の評価や今後の議論の進め方について、委員の皆様と議論を行いたいと考えている。

3 説明事項

（1）福知山HANABI2024開催結果について

事務局：資料1に基づき「福知山HANABI2024開催結果について」説明

（2）チェックシートまとめについて

事務局：資料2に基づき「チェックシートまとめについて」説明

会 長：説明事項について、委員の皆様と意見交換を行いたいと思う。各委員それぞれの専門的な知見から、A・B・C評価を付けていただいているが、それを踏まえてチェック項目ごとに検証会議全体としてのA・B・C評価を付けていきたいと思う。18時、19時、20時というように分かれているが、全体を通してどうだったかということの評価付けしたい。委員の皆様がそれぞれチェックシートに

基づき、A・B・C評価をされた意見の擦り合わせを行い、検証会議全体としての評価を付けていきたい。チェック箇所を順に良かった点、悪かった点、所見などを踏まえて、大まかな評価を付けていきたいと思う。まず各ゲートについて、ブロックごとのアナウンスに従った誘導はどうであったか。18時、19時、20時と人がだんだんと入場していくに従ってどうだったのか、あるいは入場する前はどうかだったのかなど、全体的にA・B・C評価をすればどうなるのかご意見をいただきたい。

委員：これからA・B・C評価を付けていくということであるが、Cの評価をしたものをいかにこれから改善していくのかということが焦点になると思う。改善の余地があるのか、どのように整理をしていくのか共通事項をまとめていただきたいと思う。

会長：確かにA評価は推奨、B評価は標準、C評価は要改善となっていて、AとBについては、問題なかったということになるが、Cについては要改善となるので、来年以降の花火大会にも関わってくると思う。どのような基準で決めていけばよいか。意見がなければ、A評価は問題なくできており、来年もこのままでいくべきだという評価、B評価は可もなく不可もなくスタンダードにできており、来年につなげていけるという評価、C評価は改善しなければ大きな問題になるかもしれないことや実行委員会に伝えたい意見があるという評価の捉え方でよいか。

委員：よい。

会長：それでは、そのような評価に基づいて、まずは各ゲートのブロックごとのアナウンスに従った誘導について、時間帯によっての各委員の評価が出ているので、これを踏まえてご意見いただきたいと思う。

委員：各ゲートに配置された委員の主観となるので、まとめて評価することがなかなか難しく、各ゲートで様子も違う。私が聞き取りやすかったと感じても、ゲート1、ゲート4ではスピーカーが聞こえにくいということもあるので、まとめた評価をどうすればよいのか迷っている。

会長：A評価を付けさせていただいた。ゲート3であったが、よく聞こえていた。しかし、ゲート1の方はほとんど聞こえなかったという評価もあった。ゲートごとによってかなり状況が違った。全体評価としては、BまたはCにし、所見や悪かった点という部分に改善すべき所があったと意見を入れるというようにまとめていくのも可能だと考えている。

委員：会長が言われた通りのやり方で進めていけばよいと思う。ブロックごとのアナウンスに従った誘導については、C評価を各委員が改善していけると思えば、全体としての評価をBにすればよいと思う。Cの部分を改善できるかできないのかを議論していくべきだと思う。

会 長：では、このような方針で進めていきたいと思う。全体的にブロックごとのアナウンスに従った誘導が各ゲートで状況が異なるし、おおまかにBかCかの話になると思うが、どちらがよいか。

委 員：Bでいいと思う。所見の部分に聞こえないところもあったと記入すればよいと思う。

会 長：では、各ゲートのブロックごとのアナウンスに従った誘導については、B評価の標準ということにし、悪かった点や所見を追記して、現段階での評価ということによいか。

委 員：よい。

会 長：次に各ゲートのロープによる分断規制について議論していきたいが、B評価をほとんどの委員がされており、私はロープによる分断規制については評価しなかったが、他の委員の方はどうか。これもB評価で、悪かった点と所見を追記するといった形で現段階の評価をするということによいか。

委 員：よい。

会 長：次に観客へのアナウンスについて、評価が分かれているなかでの議論となるが、ご意見や議論したいことなどあるか。

委 員：アナウンスをされる方のテクニックの問題だと思う。ゲート1とゲート4の両サイドでスピーカーの音量が足りないと評価した。改善点として付け加えられたため、解消できると思う。したがってB評価かA評価でいいと思う。

会 長：私はA評価を付けた。Aの推奨までとはいわなくとも、他の委員の悪かった点、所見を見ると、足りなかった部分もあったということからA評価にはこだわらない。B評価かC評価にし、悪かった点や所見の部分でゲート1とゲート4の端のほうで音量が足りなかったというのは明らかなので、それを評価に記入していただければと思う。各ゲートの観客へのアナウンスはB評価にし、悪かった点と所見、気付いた点を追記するということによいか。

委 員：よい。

会 長：次に各ゲートのチェック項目その他について、何か付け加える意見はあるか。

委 員：B評価にしたが、シートに入る人数について、どのような基準であるかの把握をしていなかった。3人のシートもあれば10人のシートもあったことが疑問であった。退出の際に私はゲート3にいた。ゲート3はスムーズに退出できていたが、ゲート1とゲート4はまだ多く人が残っていると感じた。それは混雑を避けるために行われたのかもしれないため改善点ということではない。そのためB評価にした。

会 長：事務局でシートに座る定員や基準は分かっているか。

事務局：実行委員会からは、3m×3mのシートで6名から7名を想定していると聞いているが、大人と子どもで大きさが違うので、基本的にはシートの中に収まる人

数であれば構わないということで実行委員会は整理されていた。

会 長：では、B 評価にしてシートの基準についての所見を付け加えることでよいか。

委 員：よい。

会 長：次に堤防天端につながる路地や階段等での観覧者の集中について評価したいと思う。委員の評価は分かれており、時間経過によっても違うと思うが、全体的に見てどう考えられるか。

委 員：C 評価を付けた。堤防天端のロープが高い位置に張られており、高すぎてロープの意味がなかった。

会 長：他にお気づきになった点はあるか。

委 員：見た限りゲート 2 では、ロープの間をすり抜けるというようなことはなかった。

会 長：B 評価か C 評価という話になるが、どちらがふさわしいか。

委 員：C 評価を付けたが、入場ゲートのスロープと階段の上と下にはスタッフがいたが、スロープと階段が長いため、安全管理上、途中にもスタッフが必要だと思った。改善できると思うので B 評価でいいと思う。

会 長：B 評価にし、悪かった点と所見を記載し、C 評価に近い B 評価になるかもしれないが、改善することがあったという総合的な評価でよいか。

委 員：よい。

会 長：次に堤防天端のチケット所有者以外の立入りについて、何かご意見はあるか。

委 員：C 評価を付けた。人が多すぎて、どこでチケットのチェックをしているのかわからなかった。他の委員はチェックできていたとの評価であるため、C 評価でなくてもよい。

会 長：他にご意見あるか。

委 員：C 評価を付けた。広小路にある民家の方が堤防天端に出てきて観覧をされていた。民家の方なので、家から一步出ただけでどう注意すればよいのかとなった。警備員の方が注意していたのか分からないが、聞き入れていただいたという感じではなく、立ち去っていかれた。それをどう評価してよいかかわからず、C 評価にした。

会 長：民家の方が敷地の前に出ることについては、今後の議論の余地があると思う。誰がチェックをしているかがわからないことも非常に問題だと思う。腕章などを付け、こういう役割だとわかるようにしなければ問題になる。

委 員：確かに民家に住まわれているほとんどの方が、家から一步出たの観覧や家から観覧していたので、これはいいのかとなった。それを注意はできないが、チケットを買ってないのに見ることができる場所というのは立地条件が良いなと思った。

会 長：今後の議論の大きなテーマになると思う。評価としては C 評価にして、悪かった点と所見を記載するという評価でよいか。

委員：よい。

会長：では、堤防天端のチケット所有者以外の立入りについてはC評価とし、今後の議論の対象になる。家の前に出ることの何が悪いのだという意見も出ると思う。次に堤防天端のチェック項目その他について、ご意見はあるか。

委員：ない。

会長：意見がなければ、A評価の推奨という判断でよいか。

委員：よい。

会長：次に広小路通りから堤防天端に向かう交差点での雑踏状況について議論していきたいと思う。委員の意見がB評価とC評価に分かれているが、何かご意見あるか。

委員：評価が難しいが、交差点内で座り込んで観覧されている方がいたことについて、最初の時点で予想していたのかなと思った。あれほど大勢の人が来たら、仕方のないことかもしれないが、観客数の予想などの問題にも絡んでくると思う。明確にこうすれば良くなるということの判断が難しい。

会長：他にご意見あるか。

委員：広小路通りでの歩行者整理について、店舗入り口での着座と飲食が一部見られたため、道路縁石での着座は混雑すると危険を伴うと思う。もし、何かあれば混乱を招く恐れがあるので、利用方法も考えるべきだと思った。

会長：B評価にして、先ほどの意見も付け加え、悪かった点と所見に記載するといった評価でよいか。

委員：よい。

会長：次に広小路通りでの観覧者と歩行者の整理について、先ほどの議論にもつながってくると思うが、私はA評価を付けた。歩行者整理については、祇園祭の人の多さに比べればA評価であったという線引きであるため、B評価で問題ない。

副会長：先ほどの項目と重なる部分がある。先ほどの所見で記載すべきこともあるので、それらを分けて整理すべきなのか、合わせて整理すべきなのかは考えたほうが良いと思う。

会長：次回以降の議論のなかで、整理していく1つの論点として捉えていくことになると思うが、この点に関してご意見あるか。または評価に関してご意見はあるか。

委員：縁石に多くの人が座られていることや、チケット購入者の弁当引き換えの列も行列であった。露店も行列であったため、B評価にした。

会長：では、総合評価をB評価にして所見を記載し、次回以降で雑踏状況と合わせて考えるのか、分けて考えるのかを議論していく。特に広小路通りの問題だが、私自身11年前やそれ以前の花火は見えていないため、広小路通りの混雑状況がわからないが、以前の雑踏状況の兼ね合いも含めて、今後につなげていく大き

な議論になってくると思う。そのような方向性でよいか。

委員：よい。

会長：次に御霊公園の会場内のゴミ箱の設置数について、ご意見はあるか。

委員：C評価にしたが、ゴミ箱が確認できなかったからである。記入した内容は、多くの人が並んでいることや売り切れの店が出ているという評価であるので、私のC評価は無視していただいて構わない。

会長：他の委員の方からご意見はあるか。

委員：C評価にした。19時頃の御霊公園内は暗い状況であった。公園内隅々にまで照明がいききっていないなかで、小さな子どもが遊戯具を使っていた。その周りで飲食をしている方もいたことから、このような時は遊戯具を使わないようにすることが大切だと思う。チェック項目その他の項目になるが、悪かった点として記入した。

会長：御霊公園内のごみ箱の設置数に関しては、花火大会終了後もほとんどゴミは落ちていなかった。ゴミ箱の設置数はB評価にして、所見を記載するということでよいか。

委員：よい。

会長：次に来場者の十分なスペースの確保について、C評価が多くなっており、かなり問題があったのではないかと思う。露店の数についてのチェック項目があっても良かったと思うが、来場者の十分なスペースの確保について、委員の方からご意見はあるか。

委員：露店の配置が悪いと判断した。中央に露店が集中しており、人の流れが悪いと感じた。例えば、露店を周囲に配置してみるのもいいと思う。そもそも花火大会に露店が必要であるのかをもう一度考えたほうがいい気もする。お客様にとっては色々なイベントがあったほうがいいとも思うが、花火大会の日にしなくてもいいのではということを検討していく必要があると思う。

会長：他の委員の方からご意見はあるか。

委員：御霊公園に入ったときに、お店がすべて真ん中にあるのだなと思った。だから人の列が放射線状になっており、19時くらいは混雑していて通ることができなかった。ベビーカーの方がいたのが気になった。15店舗であの来場者の多さには対応できないし、確かに大会のときにお店は必要なのかなと思った。あったほうが嬉しいと思うが、御霊公園内の露店の方は、花火が始まるまでにしっかり閉店されて真っ暗になった。しかし、既存のお店は営業されていたので、不公平な気もした。

会長：本当に露店が必要であるのかというご意見が出た。配置の問題、営業形態の問題も出てきた。チェック項目その他も含めて総合的にはC評価にして、悪かった点と所見を付ける。更にチェック項目にはないが、露店出店が必要であるの

かといった議論を次回以降していく方向性でよいか。

委員：よい。

会長：次に御霊公園のチェック項目その他について、先ほどご意見があったように、真っ暗のなか、多くの人がいる場所で遊戯具が動いているというのは大きな問題だと思う。御霊公園のその他の部分はC評価にして、先ほどあった所見を付けるということでよいか。

委員：よい。

会長：次に有料観覧席のトイレの設置数について、ご意見あるか。

委員：ゲート3であったが、トイレの個数が男性2、女性2であった。ゲート3の人数の割にトイレの数が少なかった。私が見たときはずっと並んでいたの、C評価にした。また、トイレ内に照明がないことに気がつかなかったため、照明がないのはきついと感じた。

会長：他の委員の方から自分のゲートはこんな感じであったというご意見はあるか。

委員：ゲート4であったが、一番端ということもあり、トイレに並んでいるという様子は見受けられなかった。ゲート4は問題なかったと思う。

会長：悪かった点と所見を付け、トイレに手洗い場がないこともあったので、トイレにまつわることに関してはC評価に近いB評価ということでよいか。

委員：よい。

会長：次に有料観覧席の照明の明るさについて、ご意見あるか。

委員：ゲート1とゲート4が暗かったということがメインだと思う。B評価にして対策を考えればよいと思う。

会長：では、ゲートによって違うということがわかったため、B評価にしたうえで、悪かった点と所見を付けて今後検討していくということでよいか。

委員：よい。

会長：次にその他で当日気付いた点について、委員の皆様の評価はA評価とC評価しかない。総合的に当日気付いた点について、ご意見あるか。

委員：当日気付いた点についてはそれぞれ視点が違うので、評価の仕様が異なる。例えば、検証会議でこういう意見があったということでもいいと思う。チェックシートで評価するのは難しい。

会長：他の委員の方からご意見あるか。

委員：確かに評価は難しいと思うので、当日気付いた点を挙げていただければいいと思う。また、歩行者道路に自動車の通行があったと記載した。付近のお店の方向であったが、車を止めないと危ないのではないかと思った。全体的に有料観覧席にゴミがなかったので、マナーがすごく良かったという印象であった。

会長：では、当日気付いた点は各委員の主観や意見が入っているため評価が難しいということで、評価はなしにし、知見に基づいて気付いた点を明記するという方

向でよいか。

委員：よい。

会長：各ゲート、堤防天端、広小路通り、御霊公園、有料観覧席、その他のすべてを評価付けし、悪かった点と所見を付けていただいたことで、次回の検討会での議論のあり方が示されたと思う。皆様の意見では、A 評価というのはほとんどなく、B 評価、C 評価に近い B 評価、C 評価というのが多かった。総合的に現段階での評価をしたうえで、8 月 11 日に行われた花火大会が安心安全に開催されたのか、あるいは安心安全に開催できなかったのかということが今後の議論に出てくると思うが、何かご意見のある委員の方はおられるか。

委員：本日我々が付けた評価というのは、あくまでも当日検証した結果となる。第 1 回検証会議のときは、実行委員会も独自で検証を行うとされているし、今後関係機関との確認事項も何点か検証会議で挙げているので、その回答を受けてから総合的に最終的な判断をすればいいのではないかと思う。そのため、今ここで安心安全に開催できていたのかの判断はできかねる。

会長：他の委員の方はご意見はあるか。

委員：個人としては、11 年ぶりの花火がとにかく安全に無事終わったことと、久しぶりに花火を見た皆様がすごく笑顔であり、良い花火だと思った。また、ゴミもほとんどなかったことを含めて全体的に良かった。先ほども言われたように検証会議としての結果を今すぐ出すことよりも、色々な意見を聞いてからでもいいのではないかと思う。

会長：他の委員の方からご意見はあるか。

委員：C 評価の所もあるし、検証材料をどのような形で反映するのかで大きく変わってくると思う。個人的な意見だが、有料観覧席は必要であるのか。運営上の関係もあるので、軽々しく話はできないことになるが。また、露店についても御霊公園内で営業したが、これも実際に必要なのか。これらは運営上からすると非常に重要な部分であるので難しいことだが、今後の議論の対象になってくると思う。色々な場所から自由に花火が見えるということもこれから話に出てくると思う。

会長：話をまとめると花火大会は無事に終了したというのは事実である。ただ、実際に安心安全に開催できていたのか判断することについては、時期尚早であり、露店や広小路通りの雑踏対策や御霊公園の露店問題など含めた花火大会のあり方について、これから関係機関へのヒアリングやチェックシート、アンケート結果を踏まえながら、最終的な判断を行っていく。そのような方向で第 4 回検証会議以降において、安心安全に開催できていたかを検討委員会として方向性を検討していくということよいか。

委員：よい。

会 長：では、そのように話を進めていきたいと思う。後日、関係機関等へのヒアリングや実行委員会からの情報提供を受けることについて、記載事項以外に何か意見はあるか、また実行委員会への確認事項であったり、情報提供を受けたほうがいい機関であったり、今後の第4回検証会議を進めていくうえで、こんな資料があったほうがいいのかという意見があればお願いしたい。この場ですぐに出ないということであれば、事務局に言っていただければ、その都度対応いただく。今の段階で何か意見はあるか。

委 員：ない。

会 長：なければ、会議終了後、何か意見があれば、事務局に言っていただければ、各委員の意見をヒアリングしていただく。現段階では付け加えることはないということでしょうか。

委 員：よい。

会 長：実行委員会独自の検証結果が出てくると思うので、結果の共有を事務局にお願いしたい。検証委員会で様々な論点や問題点が浮かび上がってきた。これから議論をしていくうえで、実行委員会独自の検証結果が必要となるため、情報提供をお願いしたい。また、関係各機関や実行委員会への意見照会について、可能な範囲で次回の会議までをお願いしたい。委員の方から何かご意見はあるか。

委 員：ない。

4 協議事項

(1) 今後の議論の進め方について

会 長：検証会議として、安心安全に開催できていたのかという評価について、第4回検証会議以降に行いたいと思う。いずれにせよ委員の皆様からの課題や改善点の指摘があったので、それらを検証結果として整理をしていきたいと思う。検証結果を踏まえて、来年度以降の花火大会が開催されるとした場合、どのような対策をするべきかについて議論を行い、結果を取りまとめ、市長に報告するといった作業に移りたいと思うが、そのような方向でよいかな。

委 員：よい。

会 長：では、第4回検証会議で議論する項目について協議していきたいと思う。昨年度に行われた「花火大会のあり方を考える会」の提言では、安心安全に開催できた場合にのみ規模を拡大するとしていた。安心安全に開催できていたかいなかにかかわらず、花火大会の規模を拡大するのか、あるいは今年と同規模であるのか、あるいは縮小するのかについて、議論が必要になってくると思う。

会 長：その他議論すべき項目について、何かご意見はあるか。

委 員：規模について、必ず議論していく必要があると感じる。仮に規模を拡大してもいいとなった場合についても、それに伴って必要な対策も変わってくると思う。

逆に規模を拡大するべきではないとなって今年並みに開催するとなっても、課題がたくさん出たので、整理していく必要があると感じる。チェックシートで多くの委員が課題として挙げたのは、露店だと考えている。また、市の関与についても今後議論していくべきであると考えている。

会 長：他の委員の方からその他議論すべき項目について、何かご意見はあるか。

委 員：ない。

会 長：では、委員の皆様のご意見を受けて議論すべき項目について、整理しようと思う。委員の皆様からご意見を受けた項目として、規模を拡大するのか、同規模であるのか、縮小するのか。それによって広小路通りや御霊公園、堤防天端の雑踏事故対策などにも関わってくると思う。それと露店をどうしていくのか。また、市の関わり方についても規模が大きくなった場合、市の関わりが非常に重要になってくる。また、有料観覧席が本当に必要であるのか。運営のあり方に関しても考えていかなければならないと思う。更にB評価に近いC評価やC評価になった点があったので、そこを詳しく第4回会議以降で検討していくという方向性でよいか。

委 員：よい。

会 長：では、事務局にお願いとして、本日の会議の意見のほか、後日各委員の皆様に改めてヒアリングをしていただき、議論すべき項目の整理を第4回検証会議までに行っていただきたいと思う。各関係機関等へのヒアリングや実行委員会から情報提供を受けるものの回答、実行委員会独自の検証結果なども踏まえ、次回第4回検証会議において、安心安全に開催できていたのかなどについて検証委員会で更に評価を加えたのち、議論すべき項目を中心に、具体的に議論を進めていきたいと思う。その方向で事務局の皆様よろしく申し上げます。

(2) その他

5 その他

会 長：これまでの協議を踏まえて、委員の皆様からご意見はあるか。

委 員：ない。

会 長：ご意見がなければ、協議を終了する。

【次回会議】第4回花火大会検証会議は令和6年10月もしくは11月を予定。

6 閉会